

2号機PCV内部調査について

2017年1月26日



【報告事項】

■ 内部調査の実施状況

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

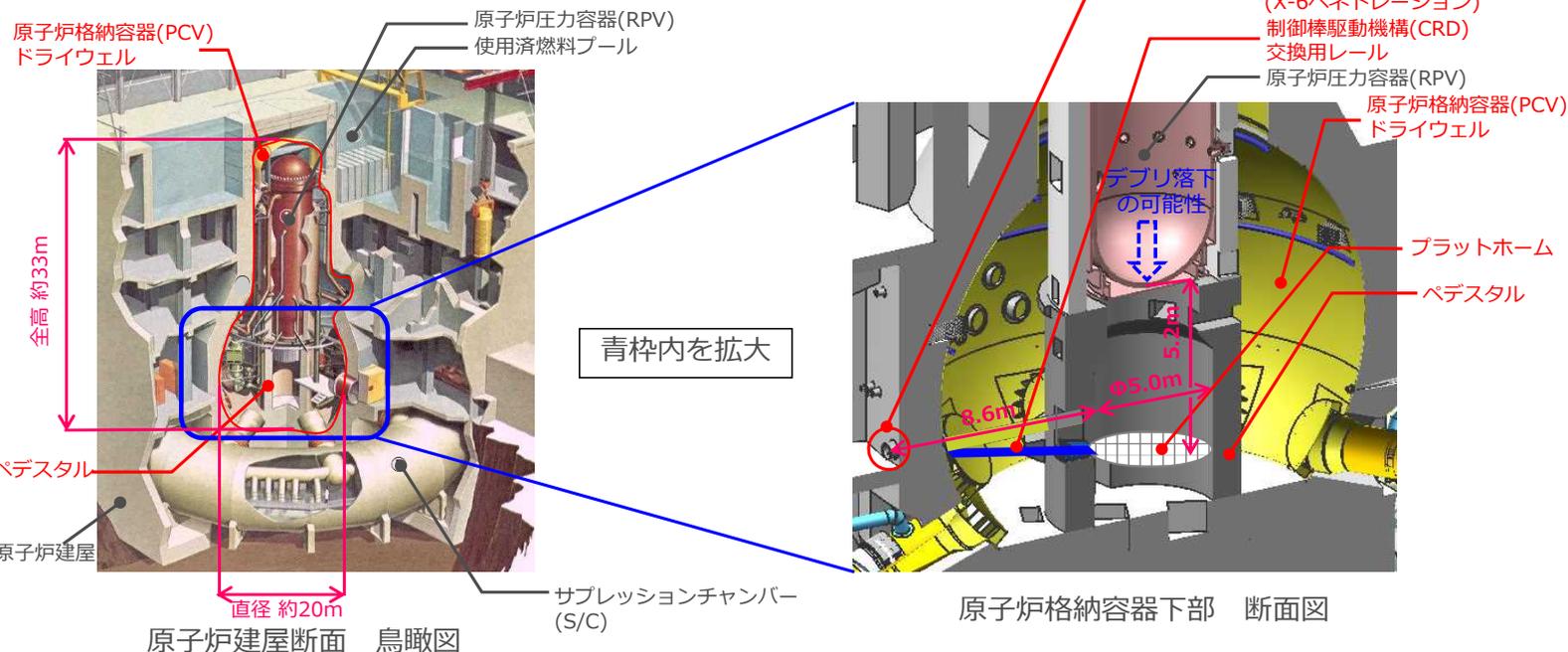
1. 2号機原子炉格納容器(PCV)の状況について



- 2011年3月11日の震災の影響により、原子炉圧力容器(RPV)内の核燃料が気中に露出し、溶融した。
- 事故進展解析の結果、溶融した核燃料の一部がペDESTAL内に落下している可能性があることが判明している。



- 燃料デブリを取出すためには、原子炉格納容器内(PCV)の調査を実施し、デブリ及び周辺構造物の状況を把握することが必要。

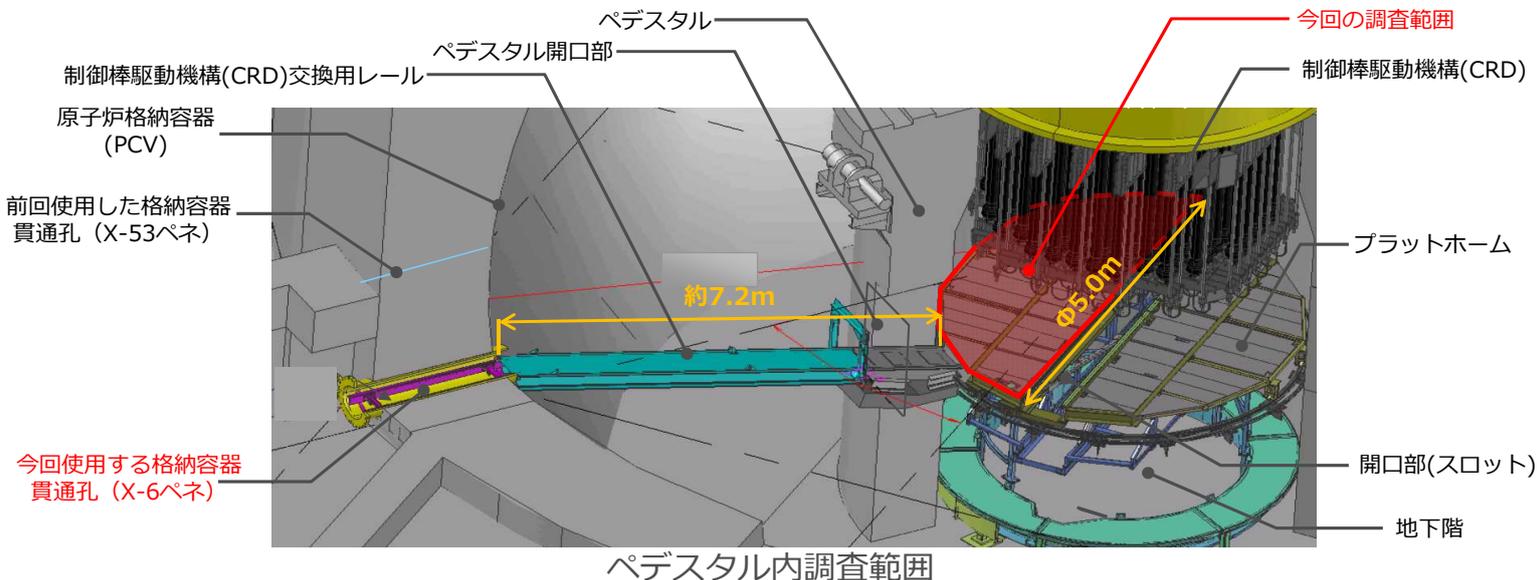


©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2. 原子炉格納容器(PCV)内部調査の概要について

- 【調査目的】: ①ペDESTAL内次回調査装置への設計・開発フィードバック情報(プラットホームの変形有無等)を取得する。
 ②ペDESTAL内プラットホーム上及び制御棒駆動機構(CRD)ハウジングへのデブリ落下状況, 及びペDESTAL内構造物の状況を確認する。
- 【調査部位】: ペDESTAL内プラットホーム上から下記部位の調査を実施(プラットホーム、制御棒駆動機構等)

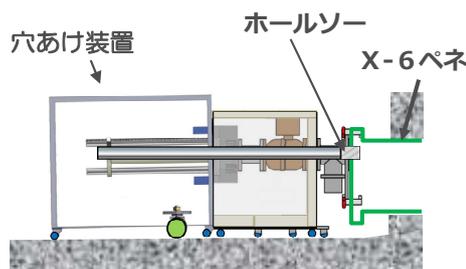
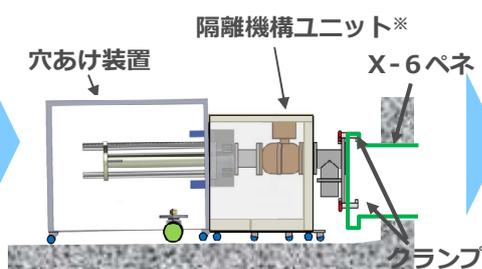
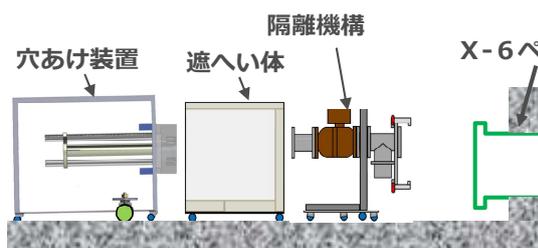


3. PCV内部調査にむけた作業ステップ

ステップ1. 装置の搬入

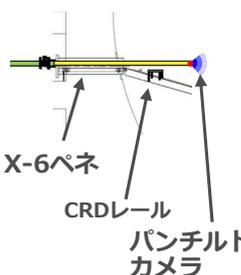
ステップ2. 装置の設置

ステップ3. 穴あけ

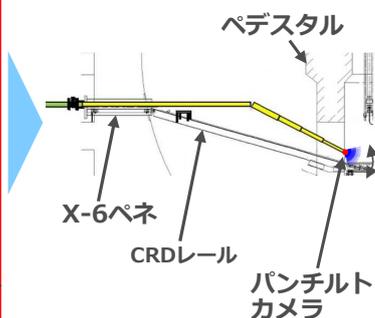


今回の報告範囲

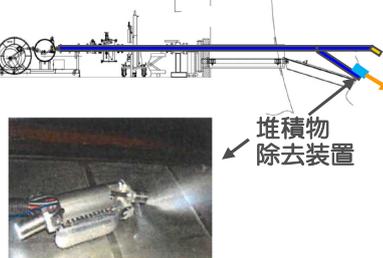
ステップ4. 事前確認用ガイドパイプによるX-6ペネ内、CRDレール事前調査



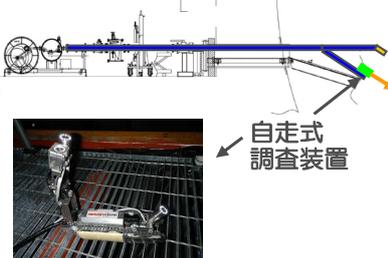
ステップ5. ガイドパイプによるペDESTAL内事前調査



ステップ6. 堆積物除去装置の投入※ ※堆積物の状況により実施しない可能性あり

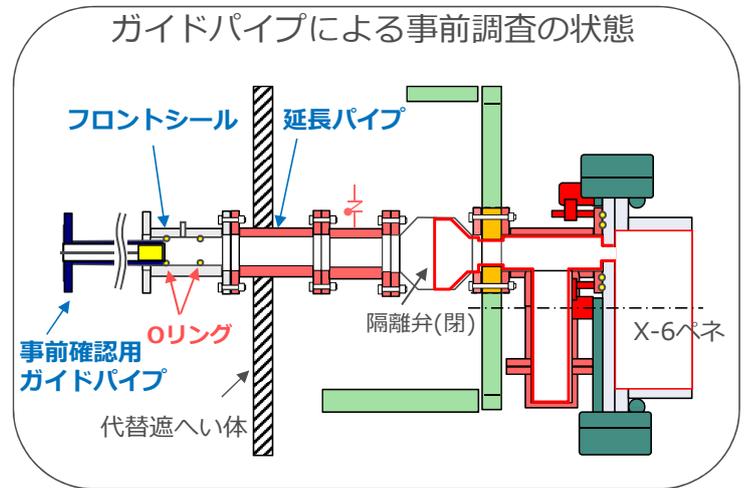


ステップ7. 自走式調査装置による内部調査



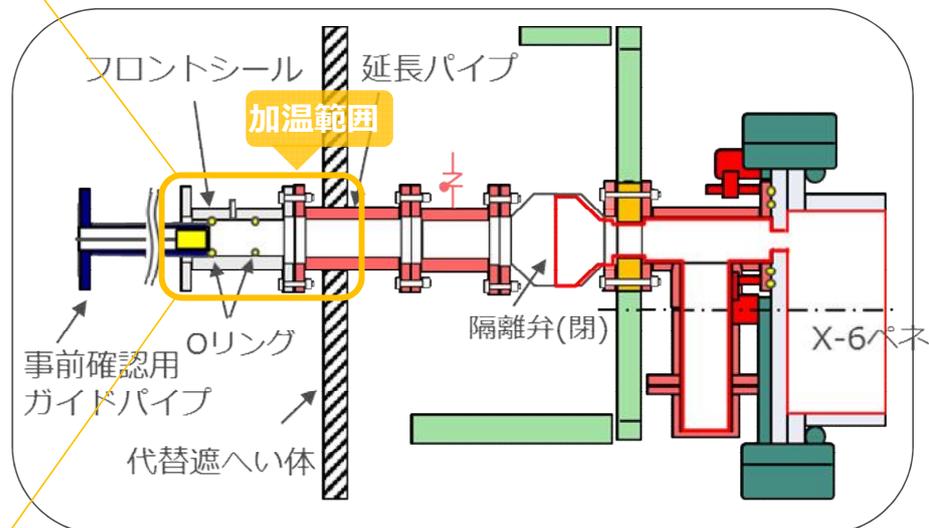
4. PCV内部調査（A2調査） ガイドパイプによる事前調査状況

- 24日、原子炉格納容器内部調査におけるX-6ペネトレーション内の事前調査を実施するため、隔離機構ユニットに接続した延長パイプ・フロントシールに、ペネ内事前調査用のガイドパイプを挿入しようとしたところ、入り口付近にて挿入できなかった。このため、作業を中断した。
- 原因調査の結果、フロントシールに取り付けられているOリングが温度低下により硬化したため、ガイドパイプと干渉したと推定した。（ガイドパイプ：Φ110mm、Oリング：Φ109.6mm）



4. PCV内部調査（A2調査） ガイドパイプによる事前調査状況

- 対策として、フロントシール部を温めることによりOリングを軟化させ、挿入部の抵抗を低減させる。





現在